

東海北陸

Branch Report Vol.57

TOUKAI-HOKURIKU

2012・August



伊賀上野城



社団法人 日本建築積算協会・東海北陸支部

支部長あいさつ 「デンマーク国の話」 支部長 小野 徹郎	1
平成 24 年度 東海北陸支部 通常総会報告	2
平成 24 年度 事業計画	3・4
平成 24 年度 東海北陸支部役員	4・5
9月3日公益社団法人へ 総務財務委員会 委員長 川辺 清次	6
会員委員会だより 会員委員会 委員長 佐野 洋治	6
添削講座開始 講習・教育委員会 委員長 藤井 正王	7
建築積算士補 1,000 名突破 講習・教育委員会 委員長 藤井 正王	7
ホームページ委員会だより ホームページ委員会 委員 西村 洋司	8
設計審査委員会だより 設計審査委員会 委員長 西田 彰	8
データベース委員会だより データベース委員会 委員長 植田 隆明	9
就業体験 名古屋市立工芸高等学校 建築システム科 2年 松尾 恭佑	9
将来解体時の建設副産物データ資料募集のお願い	10
平成 24 年度建設技術研修 講師 西田 彰	11
平成 24 年度講習会予定表・ご案内	12・13
積算業務にふれて 株式会社 伊藤建築設計事務所 建築担当 藤岡 陽子	14
『地味だけど積算は面白い! ?』 株式会社 棟建築企画 和宇慶 百合子	15
新役員紹介 清水建設(株)名古屋支店 見積部 裏橋 信夫	15
CPD 制度改定と CPD 単位取得について 東海北陸支部 副支部長 佐野 洋治	16
高千穂 紀行 (2) 顧問 杉浦 譲治	17
自然の中でのマナーを守って (株)押田建築設計事務所 取締役部長 堀田 富士雄	18・19
乾式床工事について見学会に参加して 大日本土木(株) 建築本部 建築部 加藤 一也	20~23
静岡部会だより (株)アイピーエス 積算部 藤曲 充信	24
北陸部会だより (有)高島建築積算事務所 高島 義昭	24
岐阜部会だより アトリエ MAO 建築設計事務所 田宮 三郎	25
株式会社 大成出版社	26
財団法人 建設物価調査会	27
協栄産業株式会社	28
編集後記	29
株式会社 二葉積算 名古屋支社	29
TOMO データサービス株式会社	30

「デンマーク国の話」



日本建築積算協会
東海・北陸支部
支部長 小野 徹郎
(名古屋工業大学名誉教授、
相山女学園大学教授)

東日本大震災が発生して1年と半年が過ぎようとしている。さかんに復興の立ち後れが言われている。中央省庁や被災地の行政はよくやっていると思うが、被災地以外のがれき処理に関する反応はどのように考えたらいいのだろうか。また原子力発電にかかわる放射能汚染の問題は、今後も多くの新しい問題を生起しながら延々続くのだろう。この国難に対して国民一人一人がこれまでの反省に立って、その負の部分を担当覚悟をもって真摯に考えていくことが必要であろう。

ここに内村鑑三の著作「デンマーク国の話」(岩波文庫)がある。これは明治44年(1911年)、内村が51歳のときの講演記録であるが、僅か16頁の短い話で、そこにこんな一節がある。

エネルギーは
太陽の光線にもあります
海の波濤にもあります
吹く風にもあります
噴火する火山にもあります
若し之を利用するを得ますれば
此等は皆な悉く富源であります

内村鑑三はキリスト教信者で熱心な愛国者であった。元々彼はアメリカから帰国後、若くして一高の英語教師として働いていたが、教育勅語に関する不敬事件に巻き込まれて、国家から捨てられ、極貧の生活を送る中で社会に多くの論説を表してきた。内村は、日清戦争の時はこの戦争を「義戦」と位置づける論説を張っていたが、その間違いに気づき、日露戦争では開戦前に非開戦論を唱え、絶対的戦争廃止論者になっていった。そんな内村が戦争の愚かしさと国家のあり方について書いたのが「デンマーク国の話」である。

この「デンマーク国の話」はドイツとの戦争に敗れた小国デンマークが、その敗戦後の劣悪な状況から如何に立ち直っていったかを記述したもので、国家のあり方、幸福、富の価値観について記述したものである。デンマークは敗戦によって豊かな土地の割譲を余儀なくされるが、残された貧しい土地ユトランドの回復を目指して憤然として立ち上がった工兵士官ダルガスが、豊かな土地に変えるため、緑の植林を基本として灌漑を施し国土の豊かさを回復し、世界に冠たる富国の小国を築いていく話である。その国が敗れた時にこそ真の国力は試されるのである。

最初に記した一文もこの中にある。軍国主義のもと国民の多大な犠牲の上で日清、日露戦争を経て列強大国への仲間入りを果たそうとしている日本のあり方に対する強烈な批判とも受け取れるこの著作は、今の日本にも進むべき方向を示している。しかもこの著作は困難に立ち向かう時、何をなすべきかを今の時点ではなく、今なすことが後世にいかなる結果をもたらすかに視点を置いた、内村の深い洞察力で貫かれている。100年も前にこうした記述がなされたことと、これが原発問題で揺れる我が国の取るべき一つの方向を示していることに驚きを隠せない。今、小国デンマークはドイツ、アメリカに次いで第3位の風力発電国になり、その風力発電技術は世界に輸出されている。

内村は教育の重要性にも深く関わり、実践活動としての信仰活動と農業学校の教育を通じて多くの教え子を残している。後にその教え子達は－元東大総長である矢内原もその一人である－現在の教育基本法の礎を築くのに大きな役割を果たすことになる。教育の成果はすぐに現れるものではないが、教育は国の運命にも大きく関わってくるものである。積算協会が抱える大きな問題の一つに会員の減少がある。今、本部が取り組んでいる会員増強の施策の中で、教育機関に於ける積算教育の充実は将来を見据えた意味のある取り組みである。こうした取り組みはすぐに結果がでるものではないが、是非地道に続けていかなければならないと思うし、積極的に応援したい。

平成24年度 東海北陸支部 通常総会報告

1. 日 時 平成24年4月20日（金） 16:30～17:00
2. 会 場 ベストウエスタンホテル名古屋 芙蓉の間
名古屋市中区栄406-1
3. 出席者 当日出席者24名 委任状210通 計234名

一、支部長挨拶（要旨）

今、日本は東日本大震災に限らず非常に厳しい状況にはなっておりますが、円高基調もゆるみダウ平均も少し上昇傾向であり、少しは光が見えるような状況になればと思います。東日本大震災に係る復旧活動は、ガレキ処理から原子力問題まで多面的な様相を示しております。こうした活動はすべて経済活動とは無縁ではありません。いろいろなものがお金とかかかわっており、安全性ですらコストと表裏一体となっております。



昨今、社会はコスト削減を求めており、なんでも安ければいいという空気が蔓延しているような気がします。しかし、社会基盤を形成する建築関係などは安ければいいかというのではなく、性能を正しく評価し、それにあった価格で活動が行われるのが重要であります。

そして、その性能にあった適正な価格を算出する中心になるのは、建築関係では、建築積算協会でその中心にみえる皆様方です。われわれの職能集団は、そうした気概をもってますます活躍していただければならないと思います。

会員の皆様の一っそうのご協力とご支援をお願いし、総会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

一、来賓ご挨拶

本部の橋本理事よりご挨拶を頂戴致しました。

一、定足数の確認

正会員数354名の過半数により、総会は成立していますとの報告がありました。

一、議長選出

小野徹郎支部長を議長に指名。

◇ 議事録署名人の指名

議事録署名人として和田浩嗣氏と堀田淳二氏のお二方を指名。

一、議案審議

- 第1号議案 平成23年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成23年度収支決算（案）及び監査報告承認の件
- 第3号議案 平成24年度事業計画（案）に関する件
- 第4号議案 平成24年度収支予算（案）に関する件
- 第5号議案 平成24年度支部役員補選・退任（案）に関する件



第1号議案から第5号議案までいずれも満場の拍手で承認されました。



総会後の懇親会風景

平成24年度 事業計画

I. 支部事業活動方針

未曾有の災害を経験し、世界的な財政危機のなか、国全体としても財政の健全化を迫られている。こうした状況に対応して、建築のコスト管理、積算の重要性を社会にアピールし、資格の相対的評価を高める活動と、自己研修を通して資格者のポテンシャルの向上を目指した活動が重要である。この視点に立って具体的には従来の活動の継続に加え、以下の事項を支部運営の基本として活動を行う。

- 1) 積算関連資格の社会的認知と実質的な活用についての周辺整備
- 2) 非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
- 3) 自己研修に対応する電子情報を利用した会員サービスの向上
- 4) 建築積算教育の拡大を基本とした人材の育成

積算資格の社会的認知を高めることは、積算資格に対する需要を引き起こし、建築積算士等の資格者の増加、積算協会会員の増加につながり、結果的に積算協会の基盤を固めることになる。CPD登録を中心に電子情報の多角的な運用について会員に広報、支援するとともに会員相互の意見交換の場を拡大して会員サービスに努める。非会員積算士との交流も実施し会員増強を計る。支部活動及び運営に関しても、会員各位の理解を得ながら内容の充実を計る。

II. 支部委員会活動

◇総務・財務委員会

- ①協会に新しい魅力を創出し、会勢拡大に努める。
- ②各委員会との調整を図る。
- ③会計処理の整備、予算管理の推進、事務局業務の効率化とコスト削減を図る。

◇会員委員会

- ①会員・賛助会員の増加を図る。
- ②会員サービスの向上策の検討（情報提供・親睦事業）。
- ③現場見学会、会員交流会を開催し、会員相互の親睦を図る。
- ④メールアドレス帳の整備を行い、会員への情報発信がメールできる仕組み作りを進める。

◇広報委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。
- ②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。
- ③会員以外への広報活動の充実を図る。

◇ホームページ委員会

- ①公益法人化に伴い、広く一般の方にも「積算」を知っていただける場を提供する。
 - ・ホームページのわかりやすさ、活用のしやすさを図る。
- ②会員サービスの充実を図る。
 - ・素早い情報公開。

◇講習・教育委員会

①講習会事業

- ・各種研修会・講習会を積極的に実施する。
- ・建築積算士更新講習会へ講師を派遣する。
- ・地域部会が実施する積算研修会を支援する。
- ・地方の会社へ講師を派遣する出張講習会を開催する。

②教育事業

- ・建築積算士補の認定事業に伴う、大学・高専・工業高校・各種専門学校等において、当協会作成のテキストによる積算教育導入の広報と、講師派遣及び試験を行う。
- ・管内地方公共団体等から研修会の講師の派遣依頼要請に応えるために、講師の派遣を行う。

役 職 名	氏 名	勤 務 先	職 名
資格制度委員 データベース委員	林 進	(株)林積算	代表取締役
広報副委員長	松本利治	(株)円建築積算	取締役
設計審査委員 講習・教育委員 広報委員	西田彰	(株)二業積算	取締役
会員副委員長 講習・教育委員	木原陽	(株)日本設計中部支社	主任技師
講習・教育副委員長 会北陸部会担当委員	宮西繁	明峰積算事務所	代表
講習・教育副委員長	山田治	(株)竹中工務店 名古屋支店	見積部長
講習・教育副委員長 設計審査副委員	和田浩嗣	(株)棟建築企画	取締役
データベース委員 資格制度副委員 講習・教育委員	植田隆明	UDA建築事務所	代表
ホームページ委員長	剛谷将紀	(株)剛谷建築積算事務所	代表取締役
データベース委員	裏橋信夫	清水建設(株)見積部	部長
講習・教育委員 静岡担当委員	藤曲充信	(株)アイビーエス	常務取締役
講習・教育委員 ホームページ審査委員	伊藤健藏	建築コストサポート	代表
講習・教育委員	勝野徹	(株)フジタ 名古屋支店 積算部	部長
講習・教育委員 岐阜部会担当委員	生田孝文	生田一級建築設計室	代表
データベース委員 講習・教育委員	宇野純也	U.S設計室	代表
データベース委員	大田耕二	大田建築企画	代表
講習・教育委員	渡邊國雄	(株)伊藤建築設計事務所	取締役
講習・教育委員 三河担当委員	山本喜久	神野建設(株) 建築事業部	取締役副事業部長
広報委員 データベース委員	堀田淳二	(株)中建設 設計監理部	主 幹
データベース委員	長谷川脩	(株)浦野設計 技術営業部	次 長
北陸部会担当委員	諏訪淳	(株)三四五建築研究所 富山事務所	取締役
広報委員 北陸部会担当委員	松平久芳	(株)松尾工務店 設計積算部	取締役部長
静岡担当委員	三輪健二	木内建設(株)管理部	積算課長
ホームページ副委員長 岐阜部会担当委員	松岡征紀	(有)エスム積算	代表取締役
講習・教育委員	小栗裕重	小栗建築事務所	所 長
講習・教育委員	鶴飼洋行	(株)青島設計 設計室	主 査
データベース委員	加藤一也	大日本土木(株) 建築本部 建築部	積算課長
講習・教育委員	桑田隆行	愛知県立碧南工業高等学校建築科	教 諭
会計監事(会員委員)	松岡重幸	(有)エスム積算	会 長
会計監事	笠谷正	(有)富山積算センター	代表取締役

9月3日公益社団法人へ

総務財務委員長

委員長 川辺 清次

去る6月22日付で内閣府公益認定等委員会より内閣総理大臣に答申され6月25日付で公益法人への答申がされました。

今後のスケジュールとしては9月3日（1日、2日が土日の為）が移行許可日となっている。それに向けて本部支部において、協会印や銀行印等の変更、それに伴う印鑑証明や登記簿などいろいろ必要になってくるので準備をしなければならない。

又、関係諸団体や地方公共団体、ゼネコン、設計事務所などペリカン大作戦で訪問した会社に配布する予定である。

又、各支部としては他支部と共通項目及び相違項目を比較し、統一性のある支部規定を作成する。

我が支部でも8月の役員会に向けて案を作成する予定である。そして9月6日の本部理事会で承認を得る事になります。現状と大きく変動する事はないと思います。

公益社団法人になるという反面、一方では協会の財政が厳しく平成25年度支部交付金は一律50万円減額するとの事。会員増強を期待して会費を半額、更新講習も含むとした思いきった施策の割には会員は増えていない現実。又、3事業全てで赤字でなければならないという公益社団法人であるがための締めつけ、収益事業をもっと積極的に行う事も考えないと“武士は食わねど高楊枝”になってしまう恐れがあります。私個人的な危惧でなければ良いのだが？

会員委員会だより

会員委員会

委員長 佐野洋治

日頃は何かと協会活動にご協力ありがとうございます。

本年も一般会員・積算関連関係者・積算協会活動協力関係者・講習会参加者等、積算・見積・建築コストに少しでも関係のある皆さん（つまり、誰でも）を対象にしています。

東海北陸支部役員との意見交換・親睦・積算協会情報の広報ができる、会員交流会を下記の3会場で計画しています。

積算協会に対する意見・聞きたい事、案内して欲しい事、積算・見積に対するなんでも、先に要望を出していただければ、詳細な資料・回答を用意させていただきます。

当日その場で言っていただいても（回答が後日になる事がありますが）、対応させていただきます。

積算協会会員の皆さんは、積算・見積・建築コスト管理に対するあらゆる分野で活躍されています。

このような機会に、会員個人の情報量の拡大を図り、さらに会員個人の会社・事務所等の広報の場にも活用して下さい。

そのために、積算協会活動・積算協会HPをうまく活用して、より一層の会員個人の情報収集力・広報活動拡大に役に立つように協力させて下さい。

記

金沢会場 2012年11月 3日（土祝）

名古屋会場 2012年11月17日（土）

静岡会場 2012年12月 1日（土）

忘年会 2012年12月19日（水）

開始時間は、17時30分から18時頃を考えています。

またその日は、建築積算士更新講習の該当日であり、講習終了後、会場に近い場所で、速やかに開催する予定です。

添削講座開始

講習・教育委員会
委員長 藤井正王

昨年度までの講習会形式で、はたして何処まで理解して頂けたのか、実技のレベルは合っていたのか、そして一番大きな問題は、常に仕事で忙しい中、研修とはいえ貴重な時間を講習会に参加して頂いている現状などを少しでも解決すべく、建築積算の添削講座を開催する事といたしました。

建築積算の実技はやはり、聞いて覚えるのではなく、自分の手を動かし、自分で数字を算出していかないと中々習得は難しいと思います。

添削講座の内容は以下の様に分けてあります。

初級 (RC平屋建て 部屋数2部屋 5回)

中級 (RC2階建て 部屋数4部屋 8回)

上級 (RC3階建て、部屋数14部屋 12回)

受講者のレベルに合わせて選んで頂き、更なるステップアップも出来るようにしました。添削回数は半月に一度を設定しております。特に初級・中級はいきなり拾いといってもどの項目をどのように拾うか、雲を掴むような状況になる可能性が高いので、紐解きをやって貰います。答えは出ているその答えがどのような経緯(計算式・絵)かを自分で確認して理解してもらいます。

仕事の合間や休日などの時間を使って、実際の図面から段階的に数量を算出し、協会へ、その資料をメールや郵送で送って頂き添削を受ける。そして建物の全てを算出し集計し内訳書作成までする事で建築積算のまとめ方全体を理解して頂きます。そして最終的には値入の添削も受けて頂き、工事費算出の全体像を理解して頂きたいと思っております。この添削講座は新しい学習方法の提案ではありますが、申し込みは随時受け付けています。この機会に是非ご参加頂きますようご案内申し上げます。

建築積算士補 1,000 名突破

講習・教育委員会
委員長 藤井正王

積算協会のテキストによる、学校教育がスタートして3年、試行錯誤で進んできたとは言え、なんとか順調に4年目を迎えました。東海北陸支部では当初4校でしたが、平成23年度は7校となりました。平成23年度の状況をお知らせします。

	全国	当支部
認定校 (平成23年度)	37校	7校
(大学)	12校	3校
(短大・専門学校)	28校	2校
(工業高校)	3校	3校
受講学生数	1,466名	268名
受験者数	1,174名	219名
合格者数	842名	135名
合格率	72%	62%
士補登録者数	505名	90名
登録率	60%	67%
士補登録累積	1,114名	240名

建築積算士補の登録者が1,000名を超えた事に驚きましたが、大事なことは今年度第1回目の更新講習(eラーニング)を向かえ、はたして何人の登録者が更新をして頂けるか、さらに何人の人が建築積算士に挑んでいるか。この建築積算士補へのサポートがこれから積算協会として大きな課題となります。

当支部では今年度から椋山女学園大学で授業がスタートしました。他に2・3校可能性のある学校があり、徐々に広げて行きたいと思っております。

ホームページ委員会だより

ホームページ委員会
委員 西村洋司

今回委員長より、はじめて支部報の記事を任せていただく事になりました。つたない文章かもしれませんが、よろしくお祈いします。

ホームページ委員として活動するようになり2年がたちました。インターネットは見る専門で最初は、ホームページの更新の仕方もわからずゼロから委員の皆さんに教えていただき、足を引っ張ってしまう事が多かったと思います。少しずつではありますが、更新のお手伝いが出るようになって来ました。

私自身、積算業務に携わって15年がたちますが、仕事とは違った形で積算業に関わる事ができ、非常にやりがいを感じています。仕事が忙しくなかなか思うように参加できない事も多いですが、少しでも積算業の発展に貢献できたらと思っています。

現在ホームページ委員会では、ホームページのリニューアルに向けて少しずつ動いています。

会員の方はもちろん、一般の方にも見やすく活用できるようなホームページにする為、SNS（ソーシャルネットワークシステム）を活用し、質問や意見の交換の場を提供できるようなホームページの作成が出来ればと思っています。

“リニューアルして、ホームページが見やすくなったね！よくなったよ！”と言っていたように、これからもがんばっていきたいと思います。

現状のホームページも内容が充実してきており、役立つ情報や資格・CPDや講習会の情報等見ごたえのあるホームページになっていますので、“積算 東海北陸”で検索していただければ検索のトップにでますので、ぜひ時間がある方は一度覗いていただきたいと思います。

設計審査委員会だより

設計審査委員会
委員長 西田 彰

今年は、既に岐阜県から設計審査依頼があり、7月の後半に1件の最終審査を終えました。今年度も、まだあるかと思われまますので、多くの皆さんに審査に参加していただきますようお願いをいたします。

今回は「積算チェックミスで市長がトホホになった話」をいたします。いかにチェックが大切かというお話です。(以下議会定例会会議録より)

某県の某市で平成22年度に発注された設計業務でのことです。某有名設計事務所が作成した設計書をもとに入札時の参考数量内訳書(金抜)を作りました。この数量内訳書が大事件を引き起こしたのです。この数量内訳書の出来が極めて悪く、入札時にはゼネコンから莫大な量の質疑が発生しました。質疑回答が面倒だったのかどうかわかりませんが、通常「図面を正とする」所を「内訳数量書を正とする」と回答をしました。落札後に精査したところ、約1680万円(直接工事費)の落ちが見つかりました。市側の責任が問われることとなり議会で取りあげられました。さらに市長は、不足分の1680万円を落札率の84.6%に負けてもらえと言いつつ始末です。市長・副市長・教育長の減給問題にも及びました。

結局は、市の担当者の設計書のチェック漏れが一番の原因となっていますが、設計事務所も市側も御座なりなやり方で、起こるべくして起こったものです。そこで市はH23年度から、設計事務所での積算と・・・まったく別の第三者(積算事務所)での積算とを付き合わせることで、積算の精度を高める事にしました。H23年度には、1件発注がありました。(発注は某県建築技術センターを仲介) このような事にならないよう、チェックのできない時は、設計審査委員会にご連絡をください。お待ちいたしております。

データベース委員会だより

データベース委員会

委員長 植田隆明

東日本大震災発生から1年5か月が経過しようとしています。復旧復興への対応が急務となっていますがその進捗状況は思わしくありません。そんな環境のなか平成24年度の活動がスタートしました。データベース委員会は若干の委員変動がありましたがいり充実した活動を展開すべくメンバー一同努力してまいります。

■今年度の委員会活動は以下のとおりです。

1. データベースの情報整備及び拡充を図り利用しやすい環境の整備を行う。
2. ここが知りたい積算勉強会のQ&Aを整備し会員へ公開する。(平成23年度開催分)
3. 物価版の利用方法についてさらに充実を図る。
4. 積算チェックのノウハウについてさらに充実を図る。
5. 将来解体時建設副産物【特別養護老人ホーム等関連施設】のデータ化を進める。(別紙資料募集をお願いをご参照ください。)
6. コストデータ表の利用促進を図る。
7. 概算に利用できる部位別合成単価のデータ化を進める。

※今年度のデータベース委員は設計事務所3名、施工会社2名、積算事務所6名、ハウジング会社1名の構成となっています。建築生産業務にかかわる各専門分野のメンバーが集結し、それぞれの立場から貴重な意見や考え方が反映できる組織となっています。会員の皆様からも様々なご意見とご要望をいただき充実したデータベース構築を目指したいと考えています。会員皆様の積極的なご意見ご要望をお待ちしております。

データベースのホームページアドレス

<http://bsi-th.052e.com/database/database.html>

就業体験

名古屋市立工芸高等学校

建築システム科 2年 松尾 恭佑

就業体験を終えて、初日はとても緊張したけれど会社の方々がとても優しくだったので最終日はあまり緊張せずに終えることができました。

1日目は、積算というものをよく知らないののでそれについて少し教えてもらいました。

2日目は、ヘリオスというもので図面から数量を拾い出す作業を体験させてもらいました。

最初に図面を見ながら建物の高さなどを入力して、次にリストを見ながら部材の寸法などを入力していきました。終わった後にチェックをしてもらったら間違いが何箇所もあってまだまだ勉強不足だなと思いました。最後に伏図を見ながら部材を配置して終わりました。これもチェックをしてもらおうとおかしな箇所や変なところに柱がありました。

3日目は、前日出した数量をプリントアウトしてもらい、どれがどこの数量なのか分かるよう図面に色や数字を付けていました。

この体験を進路選択などの際に参考に出来れば良いなと思いました。



平成24年 7月吉日

会員各位

(社)日本建築積算協会東海北陸支部
支 部 長 小野 徹 郎
データベース委員長 植田 隆 明

将来解体時の建設副産物データ資料募集のお願い

いつも日本建築積算協会東海北陸支部の事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。データベース委員会では将来役立つデータとして、「解体副産物数量積算システム」に取り組んでまいりました。今回は第四段として、特別養護老人ホーム等関連施設をテーマに選定をいたしました。

皆様よりご提出いただきましたデータをもとに、建設副産物別の数量を算出できるようにシステム開発目指しております。

データは多いほどより正確な数量に近づくと考えますのでたくさんのご応募をお待ちしております。

以下の要領にて資料のご提供をお願いいたします。

1. 用 途: 特別養護老人ホーム及び老人保健施設
(本体施設のみとし付属建屋は除く)
2. 工事場所: 県名明記
3. 構造区分: S造 RC造 階数明記
4. 積算年代: 年のみ西暦表示
5. 面積表示: 建築面積及び延面積(本体のみの面積とする)
6. データ資料: 建築工事の金抜き内訳書(エクセルデータ)
7. 募集期間: 平成24年9月末までをお願いいたします。(その後は随時受け付けます。)
8. 提出場所: 日本建築積算協会東海北陸支部事務局までEメールにてご送付ください。

電話 052-264-0661

FAX 052-264-0662

E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp

以上

平成 24 年度建設技術研修

講師 西田 彰

愛知県は、県及び市や町の建設部の技術職員を対象とした研修会を開催しています。当協会は、毎年、建築積算の時間をいただいております。

今年は「営繕行政基礎講座・建築積算」とのタイトルで、6月28日(木)に愛知県東大手庁舎で13:00から14:30までの90分間お話をしました。このところ毎年40名程の参加でしたが今年は驚きの62名・・・いつもとは違い、若い方々・・・特に女性の方が多かったようです。

今年の講義内容は、最初に「名古屋駅前の建設ラッシュ」のお話をしました。

松坂屋跡地の新駅ビル建設に始まり、その隣の郵便局建替え、すぐ向かいの大名古屋ビルディングとホテルを含めての再開発、新第2豊田ビルの建設があります。笹島の南の広大な三角地「ささしまライブ24」では、愛知大学・中京テレビ本社・マンション502戸の建設ラッシュ。着工が見送られているグローバルゲイトと称する施設もあります。そして笹島交差点からこの地への地下通路の整備。これらが2015～2016年に完成をします。そしてリニア中央新幹線の東京-名古屋間が開通する2027年には、名鉄百貨店・近鉄百貨店・メルサ・レジックの全面建替え計画があります。ちなみにJR名古屋駅の地下30～40mには、幅60m延面積35,000㎡のリニア中央新幹線の駅が建設されます。そして家電量販店が名古屋駅前に集結!!名古屋駅前の話題には事欠きません。

この辺りから、積算の本題に入りました。次のお話が「この一年間のコストの動きとこれからの動向」。過去1年間の刊行物の一覧表を添付し建築コストの流れや資材単価の流れを建築費指数資料により説明をしました。

このあと、某県某市で起こった積算ミスのお話をしました。詳細については「設計審査委員

会」に書きました。この大事件を「チェックがいかに大切か」の前振りとして、チェック手法の講義に入りました。

以下は、講義の中での脱線話です。

建築業界の最新情報として、中国のお話です。6月7日の中国の発表によりますと(正しくは簡易投稿サイト「微博」からの情報を発表)、来年の元旦に220階立ての「天空都市」が湖南省長沙市に建つそうです。それも2ヶ月で建てるとのことです。ホテル・病院・学校・商業施設などが入ります。現在世界一高いドバイの828mよりも50階上回り、これから推測すると約1000mを超える高さになります。鉄骨5階分を地組したものを毎日一組吊り上げるそうです。旧約聖書に「バベルの塔」の話があります。当時、煉瓦(れんが)は漆喰(しっくい)で積み上げるものでしたが、「バベルの塔」は煉瓦をアスファルトで積み上げました。新しい工法です。今回の「バブルの塔」も予期しないような新工法を見せてくれるかも知れません。楽しみです。しかし、工事現場の1km以内には近づきたくないものです。中国の6月7日がエイプリルフールでないことを祈ります。

そしてまじめなお話(決して中国の話が不真面目ということではありません)、東京世田谷に建築面積92㎡ 延床面積372㎡ 木造で1階が貸し店舗の5階建てマンションが建ちます。平成25年の4月末に完成します。建築基準法の改正により、強度と耐火基準さえ満たせば木造でも4階建て以上が可能となったからです。建築コストは、RCに比べて2～3割増しになりますが、「木のまち整備促進事業」(国交省)からの助成金で一部をカバーしているとのこと。日本では古くから五重の塔があるくらいですから大丈夫でしょう。完成したら近くで見てみたいものです。

平成24年度講習会予定表

(社)日本建築積算協会
東海北陸支部

講習会・研修会名	会場	開催予定日	定員	申込
建築積算入門の講習会	名古屋：中統奨学館ビル	平成24年4月18日(水) 10:00～16:00	30	終了
建築積算士が役立つブックの講習会1(第1章～第9章) 実技を除く	名古屋：中統奨学館ビル	平成24年6月6日(水) 10:00～16:00	30	終了
建築積算士が役立つブックの講習会2(第6章) 実技	名古屋：中統奨学館ビル	平成24年6月13日(水) 10:00～16:00	30	終了
建築積算の実技の添削講座	通信講座	随時		受付中
初級(添削指導5回)		2ヶ月半	10	
中級(添削指導8回)		4ヶ月	10	
上級(添削指導12回)		6ヶ月	10	
値入(添削指導4回)		2ヶ月半	10	
鉄骨の積算入門の講習会	名古屋：中統奨学館ビル	平成24年7月17日(火) 10:00～16:00	30	終了
建築積算士が役立つブックの講習会3(積算士一次試験対策) 1日目：実技を除く 2日目：実技	名古屋：中統奨学館ビル	平成24年9月12日(水) 10:00～16:00	30	受付中
		平成24年9月19日(水) 10:00～16:00	30	
建築コスト管理士が役立つブックの勉強会(5回)	名古屋：昭和ビル	平成24年7月～平成24年10月 18:00～20:00	10	終了
建築数量積算の実技講習会 1日目 躯体 2日目 仕上げ 積算士実技試験対策	名古屋：中統奨学館ビル	平成24年12月15日(金) 10:00～16:00	30	
		平成24年12月16日(土) 10:00～16:00	30	
建築積算士が役立つブックの講習会4(積算士二次試験対策)	名古屋：中統奨学館ビル	平成25年1月10日(木) 10:00～16:00	30	
建築改修工事の積算の講習会	名古屋：中統奨学館ビル	平成25年1月30日(水) 10:00～16:00	30	

積算事務所連合会東海地域会主催の講習会

講習会・研修会名	会場	開催予定日	定員	受講申込
「建築数量積算の実技」講習会 1日目 躯体 2日目 仕上げ 積算士実技試験対策	名古屋：中統奨学館ビル	平成24年12月14日(金) 10:00～16:00	30	
		平成24年12月15日(土) 10:00～16:00	30	

建築積算士更新講習会のご案内

1. 対象者

- ① 登録の有効期限平成25年3月31日の方
 - ・平成21年度更新講習修了者
 - ・平成21年度は都合により更新講習を終了しなかった方で、平成22年度更新講習を終了した方
 - ・平成21年度建築積算資格者試験に合格して登録を受け、建築積算資格者となった方
- ② 平成23年度の更新講習対象者で、平成23年度は都合により更新講習を終了しなかった方

2. 更新講習会の時期と場所

① 金沢会場

- ・日時 平成24年11月 3日(土)
13時～17時
- ・場所 金沢市近江町交流プラザ
金沢市青柳88

② 名古屋会場

- ・日時 平成24年11月17日(土)
13時～17時
- ・場所 昭和ビル 大ホール
名古屋市中区栄四丁目3-16

③ 静岡会場

- ・日時 平成24年12月 1日(土)
13時～17時
- ・場所 静岡県商工会議所会館
静岡市葵区黒金町20-8

④ E-ラーニングによる受講

- ・受講期間 平成24年10月1日より12月18日まで

3. 受講申込みの案内時期

平成24年8月初旬

4. 手数料 21,000円

建築積算士試験のご案内

1. 受験資格

【一次試験(学科)】

平成24年4月1日現在満17歳以上の方

【二次試験(実技)】

一次試験の合格者

一次試験免除対象者

(詳細はホームページをご覧ください)

2. 試験受験申込受付期間

一次試験からの受験者

平成24年6月20日(水)～9月21日(水)

二次試験からの受験者

平成24年10月1日(木)～12月14日(金)

3. 受験手数料 26,250円(消費税含む)

4. 試験会場

一次試験

名古屋:昭和ビル 9階
名古屋市中区栄4-3-26

富山:富山県民会館
富山市新総曲輪4-18

二次試験

名古屋:昭和ビル 9階
名古屋市中区栄4-3-26

富山:富山県総合情報センター
富山市高田527

5. 試験日

一次試験(学科) 平成24年10月28日(日)
12:50～15:50

二次試験(実技) 平成25年1月27日(日)
10:00～17:00

6. 受験の申込み方法

協会本部のホームページから申し込み

建築コスト管理士試験のご案内

1. 受験資格

「建築関連業務」「コスト関連業務」「責任ある業務」について、それぞれの実務経験年数が必要です。

(詳細はホームページをご覧ください)

2. 試験受験申込受付期間

平成24年6月20日(水)～9月28日(金)

3. 受験手数料 28,350円(消費税含む)

4. 試験会場

名古屋:昭和ビル 9階
名古屋市中区栄4-3-26

富山:富山県総合情報センター
富山市高田527

5. 試験日

平成24年10月28日(日)

学科試験 12:50～15:20

短文記述試験 15:40～17:40

・受験の申込み方法

協会本部のホームページから申し込み

詳細はホームページに掲載

<http://www.bsij.or.jp/>

女性スタッフ紹介

積算業務にふれて

株式会社 伊藤建築設計事務所 建築担当
藤岡 陽子

私は建築設計事務所で設計監理を担当しています。積算を主として業務を行っているわけではありませんが、公共工事の設計書作成のまとめ、変更設計書の作成、概算工事費の作成、工事費の査定などで積算に関わっています。

積算は、さまざまなシチュエーションに関わります。

施主は、建物の仕様はもちろん、いったいこの建物はいくらかかるのかについては、最も関心の高いところですが、施主との打ち合わせ中に、その場で概算費用の即答を求められることがよくあります。普段から、資材価格や工事価格の動向、世界情勢、景気の動向に対する知識を養っておかなければならないと、その度に痛感します。

積算は単なる数字の積み重ねではなく、工事の知識、数学力、想像力が必要であると感じています。工事がどのように行われていくのか、頭の中でシュミレーションしながら拾いを行なう必要があると思うからです。また、資材を数量化するために、数学のセンスも必要と思います。

私が初めて積算業務にふれたのは、県立高校の大規模改修のお仕事でした。その時は、設計書がどのように構成されているのか、数量がどのように拾われているのか、あまりよくわかっていませんでした。その後関わった監理物件で、変更設計書を作成する業務があり、積算を勉強していくきっかけとなりました。現場で変更になった内容を設計書に反映させ、設計書や計算書を変更する業務です。変更した内容に対し、どの項目をどのような数量に変更しなければな

らないのか、計算書の計算式を紐解き、どのような構成で拾っているのかを勉強するうちに、少しずつ、設計書を体系的にとらえることができるようになっていきました。

昨年、会社のサポートで、建築積算士の資格を取得することになり、協会主催の講習会の参加や、積算事務所での研修など、積算を勉強する機会を与えていただきました。積算事務所での研修は、二ヶ月間、週に一度、積算事務所に向い、お忙しい中、ワンツーマンでご指導戴くことができました。拾い方を始め、積算の構成、積算事務所と設計事務所の関わり、積算とは何かを体系的に教えていただきました。また、経験談も伺うことができ、普段の業務では得られない貴重な体験をすることができました。設計事務所は積算事務所とのコラボレーションを計画段階から積極的に行なうことができたと思います。

試験については、緊張で前日一睡もできず、寝不足で臨んだ試験でしたが、ご指導の頂けた皆様のおかげで、無事、建築積算士に合格することができました。ありがとうございました。これからも、色々な経験や知識を養っていくことで、総合的な判断ができる設計者を目指していけたらと思っています。

『地味だけど積算は面白い!?!』

株式会社棟建築企画
和宇慶 百合子

清水建設(株)名古屋支店
見積部 裏橋 信夫

積算のお仕事を始めてから、早いもので3年目に突入しました。



今回、この原稿を依頼された時に、積算の仕事の魅力って何だろう?と私なりに考えてみました。

日々の業務内容は、図面から項目毎に数量を算出して、刊行物等から単価を入れ、地道に工事金額を積立ていくという非常に地味な作業です。

設計や施工の分野では、一つの物件を大抵は何ヶ月という長期スパンで携わるのに対し、積算では一ヶ月に数物件を担当します。

作業自体は確かに単純なものですが、一つ一つの物件に対して拾い漏れが無いように、図面を隅から隅まで確認します。

また、新しい図面が次から次へと来ますので、最近の流行や、メーカーの新製品、新しい工法が図面に表現されていたりするので大変勉強になります。その上、どの分野においても役に立つコスト感覚が身に付くのが、この仕事における強みだと思います。

先日、海外の物件に携わる機会がありました。

慣れない英語に悪戦苦闘はもちろんですが、資材調達の不便さや工法の差に日本とはギャップがあり、面白味を感じました。

建築は本当に幅が広いので、まだまだ学ぶべきことが沢山ありますが、コストに関わるといって非常に重要なポジションの中で、社会に対して責任感を持ち、これからも仕事に臨んでいきたいと思っています。

新 役 員 紹 介

はじめまして。裏橋です。この度、東海北陸支部役員を務めさせていただきます。

昭和58年に入社。建築現業を担当しました。主な勤務地は愛知県、静岡県、三重県でした。平成21年8月より現部署に配属になり、現在に至っております。

積算協会には昨年の8月より入会させていただきましたが、まだまだ日も浅く委員会・役員会への参加も少ない状況ですが、精一杯務めたいと考えております。

さて建設業を取り巻く環境は今後も厳しくなる事が予想されますが、社会基盤を形成する重要な産業である事には違いが無く、今後も建設業の重要性は変わる事が無いと考えますが、公平性・透明性など社会の要求には応えていかなければならないと思います。

そのような中であって積算協会の果たすべき役割もますます増してくる事と思います。

皆様と一緒にアピールをして行ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



CPD制度改定とCPD単位取得について

建築コスト管理士皆さんへ、改定内容の確認と年度による適用取得単位の違いの確認を

東海北陸支部 副支部長 佐野 洋治

当協会のCPD制度は、5年間を経過し、資格者の生涯にわたる技術・知識の向上を支援することを基本として、建築コスト管理士登録更新に過度な負担がかからないように改定されています。

●制度改定の内容

1. 実務実績（20単位/年）および協会会誌（建築と積算）年間購読（12単位/年）の取得単位からの除外。
2. 年間取得必要単位数を、50単位から、年間16単位への変更
3. 各項目の年間上限単位の変更
 - 1). 全国大会 10単位 から 4単位
 - 2). 講師・社会貢献 無制限 から 12単位
 - 3). 委員会活動 17単位 から 8単位
 - 4). 本部・支部総会 5単位 から 3単位
 - 5). 「建築と積算」CPD認定記事学習 12単位 から 10単位
 - 6). 他団体会誌購読 6単位 から 4単位
ただし、1記事1単位とし年間 4単位
 - 7). 専門図書購読 20単位 から 12単位
 - 8). 特別総合講習（建築積算士更新講習） 60単位 から 8単位
4. 傷病・産休などやむをえない場合の緩和処置（低減）5年間で 50単位 から 20単位
5. 建築積算士取得20年超、1級建築士取得25年超の緩和処置（低減）5年間で 50単位 から 30単位
6. 以上の改定は、平成24年4月1日より適用されます。
つまり、建築コスト管理士の皆さんは、

5年間の必要単位数 =

(平成23年3月31日までの年数×50単位)
+ (平成24年4月1日以降の年数×16単位)

●Webシステムでの判定

登録する内容の実施日・期間により自動判定となります。

●平成25年3月更新の方（建築コスト管理士）注意点を記入しておきます。詳しい記入方法は、支部報54号（2011年2月発行）を参考にご覧ください

A. 単位は5年間で、旧制度 200単位、新制度 16単位の216単位必要。

B. 研修年月日は下記の年度ごとの登録となります。

旧制度 年間 50単位

2008年4月1日 — 2009年3月31日

2009年4月1日 — 2010年3月31日

2010年4月1日 — 2011年3月31日

2011年4月1日 — 2012年3月31日

新制度 年間 16単位

2012年4月1日 — 2013年3月31日

C. 登録しやすい内容は下記のとおりです。

●旧制度・・・58単位以上

①. 実務実績の登録 20単位/年間

②. 自己申請

a. 協会会誌「建築と積算」購読 12単位/年

b. 他団体会誌購読 6単位/年

c. 専門図書購読 20単位/年

③現場見学会 上限なし

●新制度

①. 自己申請・・・26単位以上

a. 「建築と積算」認定記事 10単位/年

b. 他団体会誌 4記事迄 4単位/年

c. 専門図書購読 6冊以上 12単位/年

③現場見学会 上限なし

●計画的な単位申請を！

高千穂 紀行(2)

顧問 杉浦 譲治

高千穂神社の駐車場は宿泊施設の送迎バスで
ごった返している、おそらく今夜の宿泊客の殆
どが集まってくるのだろう。それでも山深い町
の古い神社の参道は駐車場のざわめきが嘘のよ
うに玉砂利を踏みしめて歩く足音のみが聞こえ、
ほの暗いかがり火は人の影を映し出すのみであ
る。

高千穂の神楽は鎮守の森の氏神様のお祭り
です。里ごとに氏神様を神楽宿と呼ばれる家にお
招きして夜を徹して33番の神楽を奉納するの
が昔からのならわしであり、1978年「高千
穂の夜神楽」として国の重要無形民俗文化財に
指定されました。例祭日は集落によって異なり、
毎年11月下旬から翌年2月上旬にかけて町内
19の集落で奉納されるそうです。これらの神
楽には一般の旅人も一夜氏子として神事に参列
するという意識を持ってしきたりを守ることが
出来れば見学させていただけるようです。これ
から見学しようとする神楽は観光客のために高
千穂神社の神楽殿で一年を通じて公開されてい
るもので、町内16地区の保存会が交代で、高
千穂神楽を代表する「手力雄(たちからお)」、「鈿
女(うずめ)」、「戸取(ととり)」、「御神体(ご
しんたい)」の4番が奉納されます。

神楽殿にはすでに多くの観光客が詰め掛けて
神楽の開演を待っています。時間が近づくとつ
れ殿内の混雑は増し、廊下に溢れるほどです。
やがて定刻神職の装束を身につけた太鼓の演者
が正面に進んで歓迎の挨拶と簡単な演目の説明
を行った後神楽の開演となります。

「手力雄」の舞が始まります、高天原一番の力
持ちである手力雄神(たじからおのかみ)が岩
戸幣と鈴を手天照大神がお隠れになっている
天岩戸を探り当てる様子が舞われます。

つづく舞は、記紀の神話では「闇夜になった世
界に再びひかりを」と桶の上で衣もかなぐり捨
て、面白おかしく踊られたれと伝わる天鈿女命
(あめのうずめのみこと)ですが、能の影響を受
けたといわれる高千穂の夜神楽の「鈿女」は気
品に溢れた優美な舞です。また桶の上で足を踏
み鳴らす所作には地霊神を起こす意味があり、
太鼓のはじまりといわれています。

再び手力雄神の登場です、面を赤い面に代え
「戸取」の舞が始まります。外の賑やかさに天照
大神が岩戸を少し開け影から覗こうとするその
時を見計らい、手力雄神が渾身の力をこめて岩
戸を持ち上げ放り投げます。髪を振り乱し、流
れる汗を拭き、赤い襷をしめまわす舞いは力感
に溢れています。

中締めの後、最後の舞「御神体」、伊弉諾尊(い
ざなぎのみこと)、伊弉冉尊(いざなみのみこと)
の登場です。男女の2神が酒を醸し、お互いに
飲みあううちによった勢いで女神が見物人の席
にまで入り込みそれを追いかける男神の姿は人
間の世界の生臭い所作であり、何ともユーモラ
スな舞です。「酒こし神楽」「国産み神楽」とも
言われる人気の一番です。

例祭では眠気を催す深夜2時ごろに舞われ、
大いに盛り上がるため「目覚まし神楽」とも言
われているそうです。女神の所作、面の表情は
エロチックでもあります。最後は元の鞘に収ま
り仲良く引き上げる2神の姿には神人一体とな
る喜びや五穀豊穡、家内円満の願いがこめられ
ています。(つづく)

自然の中でのマナーを守って

(株)押田建築設計事務所

取締役部長 堀田 富士雄

昨年は、東日本大震災、津波、洪水、また、今年に入ってからも暴風、竜巻とこれまでにない大変な災害が発生し、自然の猛威を痛感させられるこの頃です。

被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く復興されますことをお祈り申し上げます。

さて、仕事の面では、なんでも屋さんのところがあって、実務をやりながらも、責任が増大するばかりで、趣味である風景写真もなかなか撮れない状態ですが、昨年は、念願の地元の写真家安念余志子氏の撮影会に参加することができました。

撮影地は、19年ぶりの上高地でしたが、あいにくの雨。一時は、豪雨と言った方がいいくらいの天候での強行撮影会でした。天候が悪ければ悪いなりに色がきれいに表現できたり、霧にかすむ幻想的な写真が撮れます。後日、先生から好評価を得たことが、今年の最良の思い出の

一つとなりました。

私にとっては、自然の中での写真撮影が最大のストレス解消法で、カメラを片手に山歩きや、車で林道へ入ったり、ブラッと遠方へ出かけたりにしています。

昨年は新潟県夏井のハサ木、京都府美山の茅葺、伊根の舟屋、富士など、今年は長野県阿智村の桜めぐり、和歌山の潮岬・橋杭岩の日の出の撮影にも出かけました。

昨秋は少ない機会でしたが、地元でもある立山の弥陀ヶ原高原の秋景を撮りに出かけました。「餓鬼の田」と呼ばれる池塘が3,000個も点在するといわれ、夏はゼンテイカ(日光キスゲ)やチングルマ、イワカガミ、ワタスゲなどの高山植物のお花畑、秋にはナナカマドや草紅葉がとても綺麗な高層湿原です。今年、ラムサール条約に登録されることとなった貴重な自然遺産でもあります。

そこで目にした光景ですが、今、中高年の間



朝日の橋杭岩 2012.05.05 5:10 頃撮影

でブームになっている撮影ツアーでしょうか、多くの年輩の方々が、三脚を立てカメラを構えての撮影。

その中の一人の男性が木道からはずれて、池塘の際へ足を踏み入れていたので、思わず「そこへ入っちゃ駄目ですよ！」と注意。一人くらい足を踏み入れても大丈夫だと思っているのだと思いますが、一人が入れば私も私もと皆が入ってしまい、モウセンゴケなどの植生が荒らされ、絶妙なバランスを保ってできている池塘が駄目になってしまいます。その仲間の方でしょうか、女性の年輩の方が余程の絶景だと感じたのでしょうか、我先にとばかりに必死にズカズカと

湿地に踏み込んで行くのを見て、もう言葉を失いました。

「他人の振り見て我が振り直せ」ではないですが、同じ趣味を持つ者としてとても恥ずかしい思いでいっぱいでした。

積算士の方々の中にも写真を趣味に活動されている方もいらっしゃると思います。自然の素晴らしさ、自然の美しさを感じ、それを写真に表現したいのであれば、もっと自然をいたわり、自然を大切にす気持ちが無ければ、写真を撮る資格はないのでは、と感じた一日でしたが、ホシガラスが松の実をついばむ姿を捉えることができた良い一日でもありました。

写真1



静寂の大正池 2011.08.21 撮影

地元の写真家 安念 余志子氏の撮影会に参加した時の上高地での写真です。

土砂降りの雨の中でしたが、長めのシャッター速度で湖面の雨跡を消し、静寂なイメージをつくりました。

写真2

橋杭岩の日の出 2012.05.05 5:07 頃撮影

県串本町の橋杭岩の写真です。

前日は、雲がかかるとどんよりとした天気、波がありました。この日は夜明け前から快晴のとても良い天候に恵まれ、波も穏やかで、写真2のようなダルマ太陽となる素晴らしい朝日を捉える事ができました。カラーで紹介出来ないのがとても残念です。



ここ知り勉強会 乾式床工事について見学会に参加して

大日本土木(株) 建築本部 建築部
加藤 一也

乾式床についての勉強会が5/11日11:30より名駅バス乗り場から始まった。

名鉄バスに揺られる事2時間半で駒ヶ根インターに。

泰成電機工業の大澤さんにお迎え頂き 泰成電機工業に到着。



早速2階の会議室に案内され片桐社長より泰成電機工業の名前の由来の説明からスタートしました。下の写真は会議前の緊張した参加者の写真です。

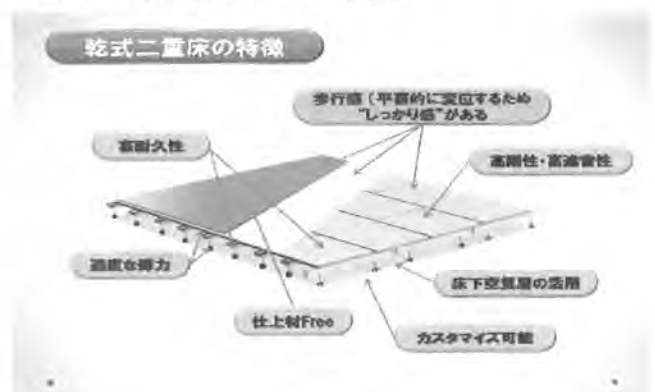


元々は泰成電機工業の平栗社長(現会長)が昭和38年に竹中工務店より床の製造権の^パテントを渡すからと言われて始まったそうです。当時、泰成電機工業は弱電部門の^スピーカー製造を請負 国内

5%、国外95%のシェアで有ったそうです。TESS(テス)と言うブランドとして世の中に出したのが始まりだそうです。

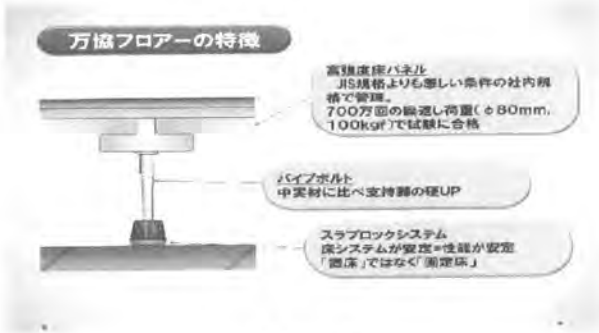
昭和56年に泰成万協^フロー-を^スピーカー会社として世に出し12年前に泰成電機工業が泰成産業とに分かれ そこから万協(株)に移行したそうです。その当時OMとして朝日ウッドメカ(大阪)工研技術(東京)が有り床工事として32社から4~5社(^フクダ化学工業、三洋工業等)になった。ブリジストン(横浜)も有ったが撤退したとの事です。当時の乾式二重床は雑工事の一部と言う扱いであまり知られず浸透していなかったとの事です。

続いて高倉管理本部長より万協の^フロー-システムについて下の資料に基づき、乾式2重床の説明が有りました。非住宅用途への活用と言うのがテーマです。下記 資料1を見ればわかるように支える床の材質は高耐久性=成長するパーティクルボードとなり、歩行感として『しっかり感』が得られる物でなくてはならないのです。



資料 1

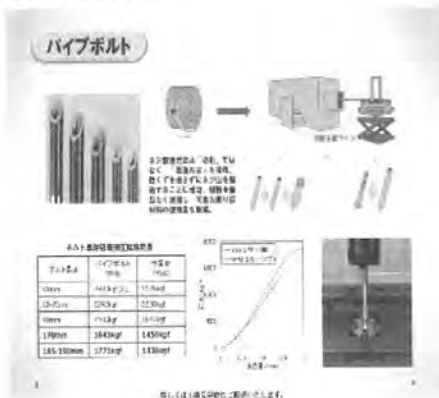
それがパーティクルボードで有り下記記載の通り通常は200万回の繰り返し荷重について確認していたが現在では万協^フロー-の材料は730万回の試験に耐えうる性能を有した高強度床パネルとなっている。(資料2)



資料 2

その材料に続いて床の骨組についての説明。床を支えるボルトについてである。

下記の写真に有るように従来は丸鋼を削ってネジを造るのだが、万協フローはパイプボルトと呼ばれる内部が空洞になったパイプを変形させてネジの形を造ると言った工程（転造方式）で出来た物である。（資料3）



資料 3

その空洞部に接着剤が流れてスラブブロックシステムを構築しそのボルトにより床を支えると言う工法である。本来、床は固定しないと言うのが概念であったが固定して地震時の揺れに対応すると言う事だそうです。（資料4）



資料 4

全体説明が終わり、締めあいさつとして藤井講習委員長が今回の見学会に協力頂いたお礼と東海北陸積算協会の生い立ち、今回参加のメンバー紹介について等の話をされました。

話が終わり、今回企画した勉強会の一番の目的である工場内へ。

さて、いよいよ工場の中の見学です。

パイプボルトの基であるパイプが電線のようにとぐろを巻いて造られて来る工程に目新しさと驚きでつつい足を止めて見入ってしまいました。機械音が騒がしく説明される担当者の声が聞きづらかった事が残念でした。残念ながら主要な製造機械と工程写真はNGとの事でした。唯一紹介できるのは下の工場内で動く機械の状況までの写真です。（資料5）



資料 5

続いては別工場に移動して乾式床のタイプ別の施工例を確認しました。（資料6）

脚の位置や床パネルの大きさ、許容荷重により、タイプの多さには驚きました。（資料7.8）

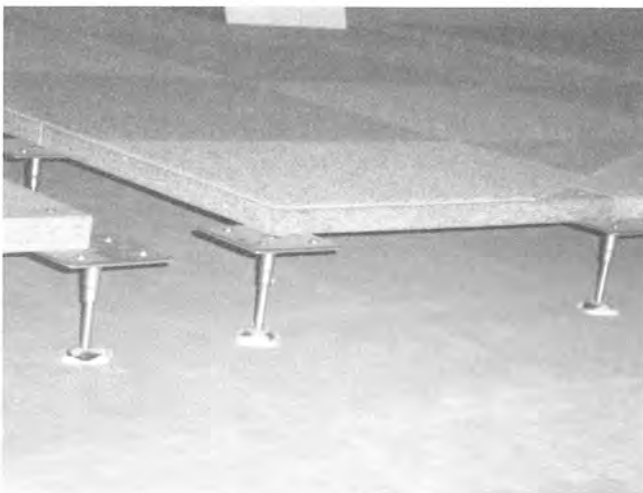


積算協会の方による実況調査状況

資料 6



資料 7



資料 8

床の高さはどこまでが限度なのかを聞いたところ実際の模型を見せてもらえました。

下記の写真の床高 $H = 1750$ だそうです。実際に昇り床の揺れ具合や振動音について実況出来ました。



資料 9

実際には出来る可能な床高さはパイプボルトの最大長さ $L=6500$ までだそうです。工場での質疑が終わり屋外に移動し、泰成電気工業社宅を改造した鉄筋コンクリート造の実験棟に案内され、そこで信州大学とタイアップして実施していた温熱環境についての研究、部屋内の温度測定のデータ管理をパソコンで行っている状況等の説明をしてもらいました。

(資料 10 は研究の施工状況写真)



資料 10

内部においては実際に生活空間をマネキンに電球をセットして体内からの発熱状態を作り熱の動きや部屋の保温状態を確認して、データを作成しているようです。(資料 11)



資料 11

下の写真は既設建物の外壁にクールチューブを打ち込んで施工した状況写真です。(資料 12)



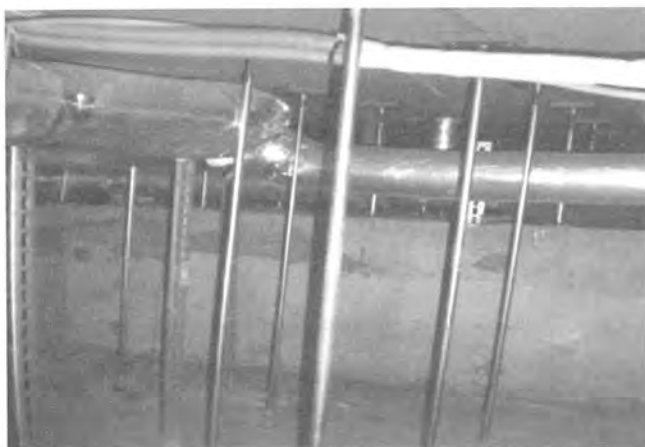
資料 12

それから5分ほど移動した実際に居住している乾式二重床を施工した戸建て住宅に到着。



資料 13 (到着して外観を見る協会メンバー)

実際に床下に潜りパイプボルトの施工状態(資料 14)や配線状態(資料 15)を見て、床で衝撃を伝えて実況を確認。揺れや音、衝撃がリアルタイムで体感が出来、知識として脳や体に残りました。



資料 14



資料 15

これで工場、実験棟、施工住宅の見学が終わり、製作部品の製作工程や完成品、実験棟での内部で外気との温度差を体感し、居住する建物での乾式二重床を見て、肌で感じ取れた実の有る見学会となりました。最後に泰成電気工業の役員さんたちと懇親会を行った後の記念写真と翌日の参加メンバーの全員写真を添付し、今回の見学会に於いて、ご協力頂きました泰成電気工業の役員、社員の方々に感謝の意を書面にてお礼申し上げます。



静岡部会だより

(株)アイピーエス 積算部
藤曲 充信

「百年に一度の不況」と言われ続けて数年が経ちました。この言葉も最近では聞かれることも少なく、不況が当たり前になり、定着した感もありますが、景気の回復が望ましいものです。

建築不況も鍋底と言うより、底なし沼に嵌まりなかなか脱することができません。未だに厳しさと危機感を実感しています。建築業界の回復なくして積算業界の未来は無いかと思いますが、しかしながら、常に前を向いてチャレンジ精神でこの危機に立ち向かうではありませんか。

日本建築積算協会も建築積算者育成方針も、全国的に広がり、各支部で定着しつつあります。これから建築を目指そうとする若者や現役で頑張っている皆さんを、少しでもサポートできる様に静岡部会も地道な活動を行って参りたいと思います。

平成24年度も三か月が経ち、今年入社された社員の皆さんも会社に慣れるころですが、こういう時期こそ、入社時のことを忘れず、与えられた仕事と私生活に対して充実感が得られ、また、会社や先輩社員から期待される人、そして会社に貢献できる人になれるように、日々の精進を怠らず一緒に頑張りましょう。

静岡部会の活動は、昨年度と同様に静岡県立浜松工業高等学校に於いて、建築科の生徒を対象とした建築積算授業を実施しますが、建築積算の基本や数量積算の実技などを、自分経験談を交えながら、更には社会人として心構えや考え方について進めていきたいと思っています。

また、静岡県立浜松工業高等学校以外の新規学校への広報活動により、建築積算授業の推進校を開拓しつつ、未来の建築を目指す人達に少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います。建築に携わる皆様のご支援とご指導を賜りながら、建築積算協会の発展と自身の更なる成長を目指して努力したいと思います。

北陸部会だより

(有)高島建築積算事務所
高島 義昭

第10回平成24年度北陸部会総会が、平成24年5月26日(土)近江町交流プラザにて開催されました。北陸3県より12名の会員の出席のもと23年度活動報告、24年度活動予定など審議していただき承認されました。

またこの総会で新たに日本海側初めての建築積算士試験会場として富山にて行なわれることが報告されました。

一次試験会場 平成24年10月28日(日)
富山県民会館

二次試験会場 平成25年1月27日(日)
富山県総合情報センター

北陸での積算士の試験会場が今までは名古屋まで足を運ばなくてはいけなかったのが、富山で行なわれるようになり、より積算士が身近に感じるようになりました。ぜひこの機会に若い人たちに挑戦していただき、そしてぜひ会員として一緒に活動していただければと思います。地区役員である宮西氏ほか名古屋支部役員の尽力により実現いたしましたことを紙上をお借りして厚くお礼を申し上げ感謝いたします。

議事終了後、塚田支部顧問よりいただいた資料
・国土交通省「業務報酬基準など説明会」資料
・官庁施設の設計業務等積算基準
に基づいて積算業務に対する講習を行ないました。

総会、積算研修会の終了後、金沢駅構内の3F「西笑」にて恒例の懇談会を催しましたところ12名の出席があり大変盛り上りました。

今後の活動予定として7月21日(土)に金沢地区勉強会・懇親会予定しています。

また講習会についても今後検討し、部会として情報の発信をしていきたいと考えております。

皆様のご支援ご協力をお願い致します。

岐阜部会だより

アトリエ MAO 建築設計事務所

田宮 三郎

平成24年4月18日(水)の午後6時30分より、JR穂積駅の北にある「市橋屋」にて岐阜部会の平成24年度総会を、来賓として東海北陸支部川辺副支部長を、お迎えて開催いたしました。

議事に移り

- ・第一号議案 平成23年度事業報告承認の件
- ・第二号議案 平成23年度会計報告及び会計監査承認の件
- ・第三号議案 平成24年度事業計画案承認の件
- ・第四号議案 平成24年度予算案承認の件
- ・第五号議案 岐阜部会会則改定承認の件

以上の五議案を審議して頂き、原案通り承認されました。

なお、承認された平成24年度の事業計画は、下記の通りです。

平成24年 6月13日(水)

建築積算の講習会

8月26日(日)から27日(月)

親睦会

10月17日(水)

支部主催の講習会

12月12日(水)

会員交流会

平成25年2月13日(水)

反省会及び25年度事業計画

平成24年度積算教室を下記の予定で、ふれあい福寿会館にて行います。

平成24年8月1日(水) RC造仕上げ

8月9日(木) 木造住宅・鉄骨造

8月 22日(水) 総論RC造躯体

以上、今年度も盛りだくさんの行事を企画しておりますので、部会員の皆様方には多数のご参加を、心よりお待ちしております。



平成24年6月13日の積算講習

平成23年基準 公共建築工事積算基準の解説

建築工事編

平成23年基準 公共建築工事積算基準の解説

設備工事編

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
◎編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

定価 各9,700円(税込)

● 市場単価の適用工種の追加、歩掛り等の改正について解説した最新版!

平成23年基準 公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
◎編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

定価 8,700円(税込)

● 共通費積算基準・標準単価積算基準の改正、参考歩掛りの改正並びに最新通達を収録!

平成23年基準 建築数量積算基準・同解説

◎制定/建築工事建築数量積算研究会 ◎編集/(財)建築コスト管理システム研究所、(社)日本建築積算協会
◎発行/(財)建築コスト管理システム研究所

定価 4,200円(税込)

● 改定された「JASS5」と整合性を図り、図表等の修正などを加えた最新版!

建築のプロが悩むCM法律問題Q&A

◎著者/釜田佳孝 ◎編著/(財)日本コンストラクション・マネジメント協会 関西支部法令部会
◎発行/(財)日本コンストラクション・マネジメント協会

定価 2,625円(税込)

● 建築のプロが最低限知っておくべきCMの法律問題30問のQ & A!

専門分野別 新しい建築士制度の解説

◎著者/宿本尚吾・大森文彦

定価 1,890円(税込)

● 建築士の資質・能力向上等を目的とする新しい建築士制度について、
建築物の設計・工事監理を行う技術者を対象に今後の課題等の内容をわかりやすく解説!

公共建築工事積算実務要覧(加除式)

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
◎編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

定価 13,650円(税込)

● 公共建築工事の積算実務者の必携書!

 株式会社 大成出版社

〒156-0042 東京都世田谷区羽根木 1-7-11
TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

(ホームページ) <http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

「Web 建設物価」で一步先へ。

平成 24 年
10 月号より

さらに大幅追加予定!

約 75,000
規格に!!

Web 版限定情報も配信!

月刊「建設物価」と比較し、約 1.5 倍の価格情報が閲覧可能です。

簡単に検索できる!

キーワード検索で大量の情報からすぐに探せます。

バックナンバー 約 10 年分を収録!

約 10 年分の月刊「建設物価」を電子書籍として収録しています。本感覚でご覧いただくことができます。

充実した写真・解説!

掲載資材・工法がひと目で分かる写真や解説、およびメーカーの情報も充実しています。

必要な情報を簡単にクリッピング!

「お気に入り機能」を利用して、必要な情報だけを登録・閲覧することができます。

体験版を1カ月間無料でご提供!!!

お申し込み
はこちら

<http://www.web-ken.jp/>



Web建設物価

検索



ご利用
料金

単月版	5,250円(税込) 【月間利用料/1契約】 ^{※3}
標準版	50,400円(税込) 【年間利用料/1契約】 ^{※1}
簡易版	37,200円(税込) 【年間利用料/1契約】 ^{※2}

※1 標準版は、1つのUSBトークンで最大3人の方が同時にログインすることができます(利用開始月のみ月刊「建設物価」1冊付)。

※2 簡易版は、1つのUSBトークンで1人の方がログインすることができます(利用開始月のみ月刊「建設物価」1冊付)。

※3 単月版は、ご利用から1カ月間ログインすることができます。

開発元

私たちは建設資材や工事費等の価格調査を通じて社会資本の整備に貢献しています

一般財団法人 建設物価調査会 情報システム部
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号(フジスタービル日本橋)
TEL 03-3663-5170 FAX 03-3663-5171

お問い合わせ・お申し込み先

販売業務代行

株式会社 建設物価サービス
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号(日本橋府川ビル)
TEL 03-3663-8761 FAX 03-3663-1397

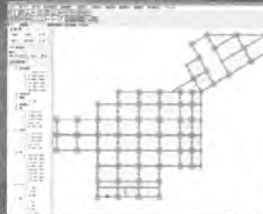
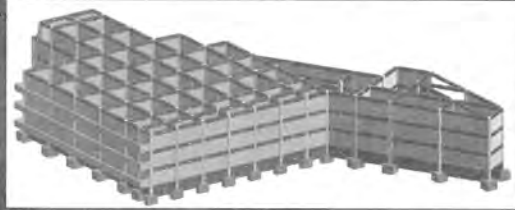
進化し続ける 建築積算・見積システム

FKS RC RC数量積算システム

視覚的な拾いチェックができる伏図入力

- 計算根拠書を同時提供、公共工事でも豊富な実績
- 作図した伏図を自動で3次元へ展開、立体図を見ながら各部材の編集が可能
- 伏図配置はワンクリックで簡単配置、偏芯情報は自動補正の機能を搭載
- 公共建築工事標準仕様書(平成22年度版新基準)にも対応
- セットバック(斜め柱)や壁式構造にも対応
- 軸組図表示により建具や増打、スリットなどを視覚的に確認、編集が可能
- 土工事は、総掘、壺掘、地下空間体積も自動で積算
- ボイド、機械式継手、定着プレート、カットオフなど最新工法へ対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込(オプション)

3Dモード



伏図入力

根切図

FKS FN 仕上数量積算システム

部屋形状自動作図と図面データ取込機能で、積算時間を大幅削減

- 部屋形状作図機能により、実際の部屋に近い形状を表示
- 自動演算と自由な計算式の組み合わせにより汎用性のある入力画面
- ユーザーごとの自由な計算式登録が可能で自動演算式のパターン化を実現
- 図面データをマウスでポイント指定するだけで数量を自動計算(オプション)
- 仕上一覧表機能で、部屋拾い作業での材料登録の手間を大幅に省力化
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動減算
- タイプ別、区分別など一つの拾いデータからニーズに合致した集計が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート



仕上拾い画面

部屋形状設定画面

KYOEI COMPASS 見積書作成システム

最大16階層で大規模物件に対応、下見積機能も標準で搭載

- 最大16階層、明細は各工事科目で3,000行まで入力が可能
- 最大5社まで見積比較可能な下見積(見積比較)機能を標準で搭載
- ExcelからCOMPASSへ直接コピー・貼付けが可能
- 付箋機能により、目印を付けた行をまとめて検索・参照・編集
- 名称・規格情報と同じ明細を文字検索し明細単価の統一が可能
- 単価マスター自動セット指示で値入作業の省力化を実現
- 数量、単価、総額固定などの各種シミュレーション機能によりコスト調整を容易に実現
- Excelとの入出力機能やRIBCから出力したデータの取込など豊富なデータ互換
- 見積書式の行数や表現、見積書の書式位置はユーザーごとに設定が可能

明細編集画面



提出用見積帳票サンプル

業者見積比較画面

建築業務をトータルサポートする協栄産業の建築コストアプリケーション

実行予算作成システム **COMPASS** 実行予算

積算実績比較システム **FKS SJ**

RIBCデータ運動システム **RIBC Link**

デジタル入カシステム **K/FIT**

積算といえば協栄産業におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS

検索

クリック!

「積算FKS」と検索してください



エレクトロニクス分野を通して
夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

協栄産業株式会社



ソリューション営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアクセスビル
 TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング
 TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

- 【会社名】 協栄産業株式会社 (Kyoei Sangyo co.ltd.)
- 【本社所在地】 〒150-8585 東京都渋谷区松涛2-20-4
- 【創立年月日】 1947(昭和22)年10月6日
- 【資本金】 31億6,181万円(2011年3月31日現在)
- 【総従業員数】 1,266名(協栄産業グループ会計/2011年3月31日現在)
- 【株式上場】 東京証券取引所 市場第一部「商業」
- 【関連団体】 社団法人 日本建築積算協会賛助会員
 一般社団法人 日本建築積算事務所協会賛助会員
 社団法人 日本建築士事務所協会連合会賛助会員
 財団法人 建設業振興基金 情報化評議委員会(CI-NET会員)

編集後記

東日本大震災発生からおよそ1年半が経とうとしていますが、未だがれき処理や放射能汚染など様々な問題が解決されないままの状態が続いています。また、7月に発生した九州北部豪雨等で被災された皆様及び被災地の一刻も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、表紙を飾る伊賀上野城のある伊賀市は、三重県西部に位置し、京都府、奈良県、滋賀県に境を接する人口10万人ほどの地方都市です。四方を山に囲まれたこの城下町は、“忍者の里”としてまた、“松尾芭蕉”生誕の地としてもよく知られたところです。

伊賀上野城は、慶長17（1612）年、藤堂高虎により築城されましたが、完成を待たず暴風雨で倒壊。現在残っているのは、当時の内堀と石垣、それに昭和10年、地元の名士川崎克氏によって再建された純木造三層の天守閣ということです。伊賀文化産業城とも呼ばれ、天守は、市の文化財にも指定されているそうです。一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

広報委員 堀田 淳二 松本 利治
 西田 彰 桑名 利男
 長山 充裕 松岡 征紀
 松平 久芳

支部報 『東海北陸』 No.57

発行 社団法人日本建築積算協会
東海北陸支部
名古屋市中区栄町四丁目3-26
昭和ビル 2階
☎ (052) 264-0661 (代)
FAX (052) 264-0662
URL <http://bsi-th.052e.com/>
発行日 2012年8月 吉日



56年の信頼と実績

プロジェクトの企画段階から工事完了まで。
建築コストに関することなら
何でも二葉積算におまかせ下さい。



株式会社 二葉積算 名古屋支社
名古屋支社長 中川 英人
〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2丁目17-30河越ビル6階
Tel.052-231-8336
E-mail nagoya@futaba-sekisan.co.jp

二葉積算があなたの経験と知識を求めています！
建築プロジェクト・コストマネージメントの
スペシャリストとしての道をさらに極めてみませんか？
勤務地：名古屋、大阪（希望可）
経験者優遇、若干名

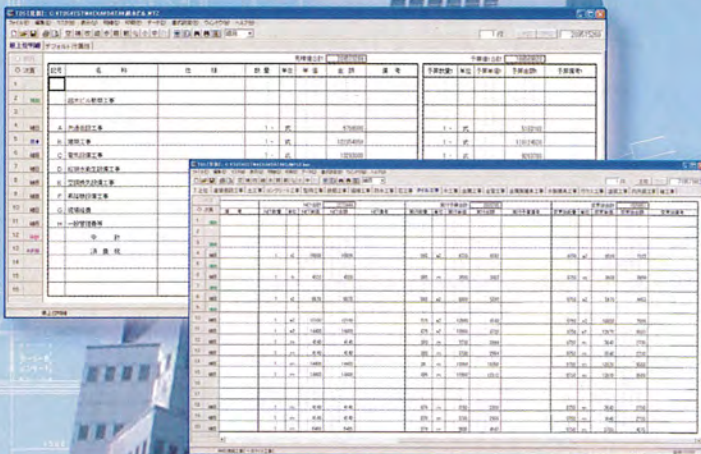
社員募集

積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

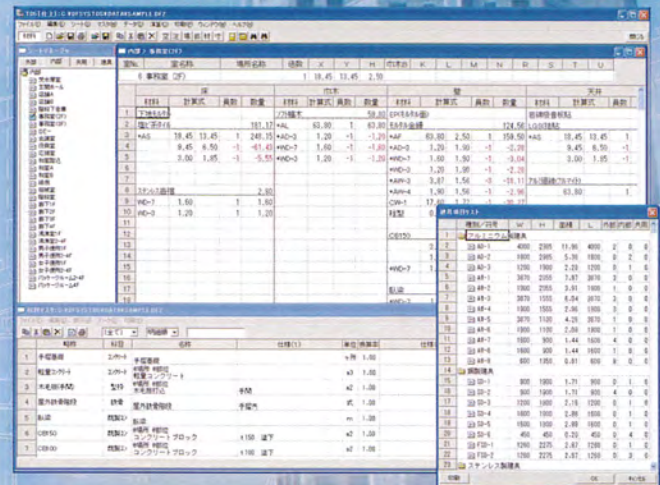
出荷本数8000本の実績!明細書作成の超決定版!

Exa TDS [見積]



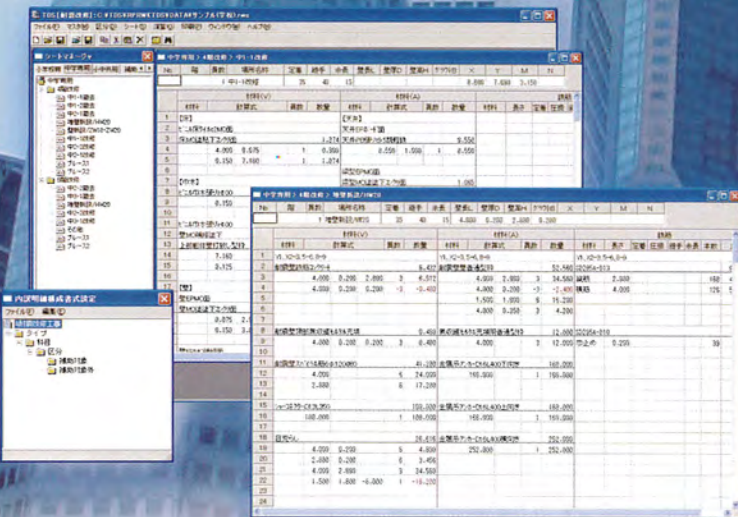
超簡単仕上拾い

TDS [仕上]



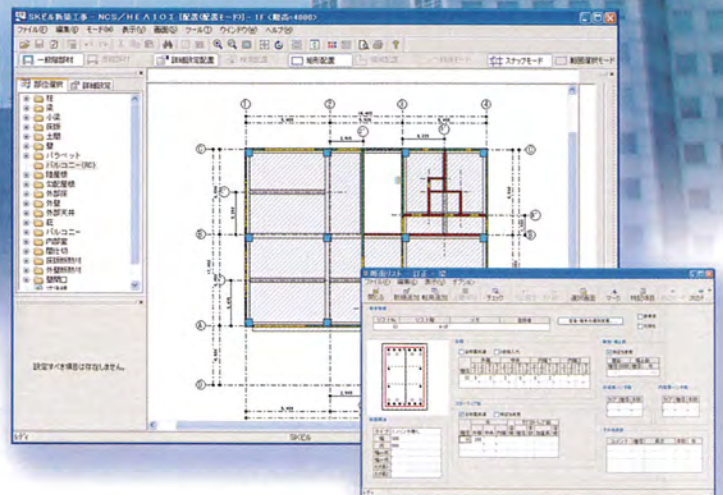
業界初!改修専用の積算システム!

TDS [改修]



どんな建物にも対応

NCS / HEAIOΣ



※NCS/HEAIOΣは株式会社積日積の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail info@tomodata.co.jp

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081